

# 全国

ぜんこく  
しぎかいじゅんぽう

平成18年 5月15日  
(2006年) 毎月3回5の日に発行

第1615・16号  
定価 1部20円

発行 全国市議会議長会  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-2  
TEL 03(3262)5237  
発行人 大竹 邦実  
<http://www.si-gichokai.gr.jp>

# 市議会旬報



小松崎常則・関東議長会  
会長（水戸市）



渡辺 聡・北信越議長会  
会長（松本市）



阿部喜之助・東北議長会  
会長（山形市）



大越誠幸・北海道議長会  
会長（札幌市）



久高将光・九州議長会  
会長（那覇市）



三木 明・四国議長会  
会長（徳島市）



内藤美雄・中国議長会  
会長（安来市）

## 7部会が総会開く 交通網の整備促進など要望

全国市議会議長会の北海道、東北、北信越、関東、中国、四国、九州の7部会は、4月20日から5月9日にかけて相次いで定期総会を開催した。各総会では、新会長はじめ新役員が選任されたほか、会

長提出議案や各県市議会議長会から提出された要望議案等について審議、可決した。新会長には、北海道では大越誠幸・札幌市議会議長、東北では阿部喜之助・山形市議会議長、北信越では渡辺聡・松本市議会議長、関東では小松崎常則・水戸市議会議長、中国では内藤美雄・安来市議会議長、四国では三木明・徳

島市議会議長、九州では久高将光・那覇市議会議長がそれぞれ就任した。また各部会は、総会で可決した要望議案の中からそれぞれ3件以内を、5月24日に開催される本会第82回定期総会へ提出する議案として決定した。東海部会を皮切りに開催された9部会の総会は、5月9日開催の四国部会を最後に全期総会に提出される要望議案22件が出揃った（近畿部会は提出議案なし）。これらの議案

は本会定期総会で審議、可決したのち、7月の理事会で地方行政委員会など5委員会に付託される。委員会では要望書に取りまとめ、関係方面に運動を展開していく。（各部会から提出された要望議案は2面に掲載）

テーマ「都市の連携と交流-まちのちからの活用-」

### 第68回全国都市問題会議

7月20・21日 札幌市で開催

第68回全国都市問題会議（主催＝全国市長会、東京市政調査会、日本都市センター等）が下記のとおり開催されます。今回のテーマは「都市の連携と交流 まちのちからの活用」。市長および学識経験者の日頃の経験や研究成果に基づく報告、ディスカッションを通じて、各都市が抱えるさまざまな課題や問題、その対応策などについて議論を深めていきます。なお、開催案内は5月10日付けで、本会から各市議会議長宛てに送付しております。

記

開催日時：1日目 7月20日(木) 9:30～17:00  
2日目 7月21日(金) 9:30～12:00  
(13:00～行政視察)

開催場所：札幌コンベンションセンター(北海道札幌市)

会議概要：1日目 基調講演、主報告、特別講演、一般報告  
2日目 パネルディスカッション、行政視察

参加費：1名につき10,000円  
申込み：送付済みの申込用紙を郵送、ファクスで  
申込期限：5月24日(水)必着  
問合せ：(1)会議について  
札幌市総務局行政部総務課  
「第68回全国都市問題会議実行委員会事務局」  
TEL 011 211 2162 FAX 011 218 5171

(2)宿泊・交通について  
日通旅行(日本通運(株)札幌旅行支店)  
「第68回全国都市問題会議」デスク  
TEL 011 222 5422 FAX 011 232 3008

#### 5月15日現在の市数

|      |      |
|------|------|
| うち   | 802市 |
| 指定都市 | 15市  |
| 中核市  | 36市  |
| 特例市  | 39市  |
| 一般市  | 689市 |
| 特別区  | 23区  |

# 病院協が総会で決議

## 新会長に轟長野市議長



あいさつする中畑会長



轟病院協新会長  
(長野市)

全国自治体病院経営都市議会協議会(会長＝中畑恒雄・小樽市議会議長)は5月11日、東京・九段会館で総会を開いた。任期満了に伴う役員改選で新会長に轟正満・長野市議会議長を選任するとともに、地域医療の充実に向けた総会決議を採択した。

自治体病院は、度重なる医療制度改革、診療報酬の見直しなど急激な医療提供の環境変化等で、約7割が赤字という厳しい状況にある。そこで決議は、自治体病院が社会的使命を達成し地域住民のニーズに応えられるよう、①自治体病院に係る地方交付税及所要額確保②地域偏在の改善など医師確保対策の充実③技術料を中心とするなど社会保険診療報酬体系の是正④公的病院の新設・増転床の病床規制緩和⑤電子カルテなど情報化の推進⑥総合的な医療安全確保対策⑦医師臨床研修病院への財政措置の充実の要望を掲げ、関係方面に実行運動を展開するとして、当日は、来賓として片山虎之助・自治体病院議員連盟会長が祝辞を述べたのち、小山田恵・全国自治体病院協議会会長が「自治体病院の現状と課題」と題し講演を行った。総会終了後、新役員らは細田博之・自由民主党国会対策委員長に面談するなど、関係方面に実行運動を行った。

### 各部会提出議案

各部会から提出された議案は次のとおり。(項目のみ掲載。近畿部会はなし)

#### 北海道部会

北海道新幹線の建設促進  
北方領土問題の早期解決と隣接地域の復興対策

#### 東北部会

道路特定財源の確保と東北地域における道路交通網の整備促進

#### 北信越部会

国民健康保険制度の改善強化  
市町村合併に対する財政支援措置  
拉致事件の全容解明と早期解決並びに拉致被害者に対する支援  
雪害対策経費への補助拡充等  
北陸新幹線の建設促進

#### 関東部会

建築物の耐震性に係る防災対策の充実強化

#### 東海部会

義務教育施設の施設整備費の充実  
防災対策の充実強化  
合併特例債及び補助金の運用  
市町村による児童相談体制の充実

#### 中国部会

生活バス路線対策事業に対する補助制度の充実  
市町村合併における財政支援措置の堅持  
自治体病院等における医師確保対策の充実

#### 四国部会

確保対策の充実  
真の地方分権実現に向けた国の制度改革  
地方税法の改正に伴う周知高速自動車道並びに国道八イパス等の道路整備促進

#### 九州部会

日米地位協定の抜本的見直し  
産業廃棄物処理場問題の抜本的解決  
東九州自動車道の整備促進

### 自治法改正で

## 標準市議会 会議規則等の 検討会開く

本会

全国市議会議長会は5月1日、東京・全国都市会館で、第1回「地方自治法の一部改正に伴う標準市議会議事規則等検討会」を開催した。検討会は、会長市及び部会長市の議事事務局(計10市)により構成。議会制度関係の改正事項が盛り込まれた「地方自治法の一部を改正する法律案」が、今通常国会に提出されたことを受け、「標準市議会議事規則」「標準委員会条例」の改正等に関する検討を行うため設置された。会議では、座長に会長市の加藤正美・藤沢市議事事務局長を選出するとともに、会議規則等の改正項目などについて協議し、同改正法案に基づき議会制度関係条項の考え方を確認した。また、今後の検討会の進め方などについても協議した。



検討会のもよう

検討会では、計4回の会議を開催し、本年9月を目途に改正した会議規則等を取りまとめる予定としている。

会議規則等の主な検討項目は、次のとおり。

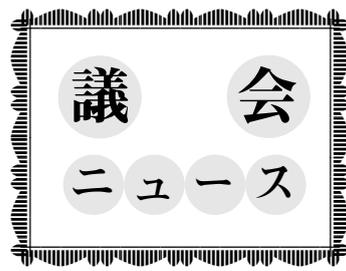
- ①専門的知見の活用(改正法案第100条の2関係) ②臨時会の招集請求権(同第101条第2項関係等) ③常任委員会への所属制限の廃止(同第109条第2項関係) ④閉会中における常任委員等の選任(同第109条第3項関係等) ⑤委員会の議案提出権(同第109条第7項関係等) ⑥専決処分要件の明確化(同第179条第1項関係) ⑦電磁的記録による議事録の作成等(同第123条関係)

# 活発な政策提案で活性化

## 宝塚市議会(兵庫県)

全国的に議会の活性化が求められている中、今通常国会に、委員会の議案提出権など議会の活性化に向けた制度見直し盛り込まれた「地方自治法の一部改正案」が提出された。

宝塚市議会では従来、現行法の議会制度を十分に研究、活用することで、様々な議論の場が設けられ、おのずと議会の活性化が図られるのではないかと、共通認識がある。



対面方式の本会議場

定例会は年4回開催、市長提出議案を審査する場にとどまることなく、議員による政策提案も活発に行われている。

4日間の一般質問では、28名の議員中(正副議長を除く)、20名程度の議員が登壇する。

また、重要施策については市当局と議論する場として全議員協議会を活用している。平成17年6月から対面方式を導入、活発な議論が交わされている。写真。

### ◆積極的な議員提案

議案提出については、地方自治法第112条に基づく議員提出によるものが多い。意見書や会議規則の改正等議会の権限に属するものだけでなく、政策的な条例提案が多いのが特徴である。下表参照。

議員提出議案の状況 (件)

| 任期              | 全体   |        | 議会組織等に<br>係る議案 | 政策条例に<br>係る議案 |
|-----------------|------|--------|----------------|---------------|
|                 | 提出件数 | うち可決件数 |                |               |
| 11年4月~<br>15年4月 | 31   | 22     | 15             | 7             |
| 15年4月~<br>現在    | 21   | 16     | 9              | 7             |

(意見書は除く。可決には修正可決を含む)

平成11年5月、議員提案による「名誉市民条例」が制定されたのを契機として、積極的に政策提案を行っていきこうという土壌が芽生えた。

その主なものを挙げると、福祉医療費の助成に関する

条例の一部改正(乳幼児、精神障害者の医療費無料化)、生活道路整備条例、核兵器廃絶平和推進基本条例、犯罪被害者支援条例、市民パブリック・コメント条例、小規模貯水槽水道における安全で衛生的な飲料水の確保に関する条例、などがあり、特定の分野や会派に偏らず、行政課題を先取りする形で幅広い提案を実現してきた。

また、この4月には議員の調査研究を充実させるため、図書室の大幅なリニューアルに踏み切った。今後、議会の事務局の機能強化を含め、議会の更なる政策提言能力向上を目指していきたいと考えている。

(文・写真は議会事務局提供)

## 議会人事

- |      |              |
|------|--------------|
| 議長   | 大関久義 (4.4)   |
| 笠岡   | 坂井 守 (4.5)   |
| 黒部   | 勅使河原喜夫 (4.5) |
| 富岡   | 平松大建明 (4.5)  |
| 香取   | 大谷清人 (4.5)   |
| 嘉麻   | 原田権二郎 (4.6)  |
| 飯塚   | 小野健一郎 (4.7)  |
| 南陽   |              |
| 副議長  |              |
| 笠岡   | 畑岡 進 (4.4)   |
| 黒部   | 山内富美雄 (4.5)  |
| 富岡   | 渡辺忠信 (4.5)   |
| 香取   | 木内正直 (4.5)   |
| 嘉麻   | 吉永雪男 (4.5)   |
| 飯塚   | 嶋田正志 (4.6)   |
| 南陽   | 鈴木英昭 (4.7)   |
| 事務局長 |              |
| 名取   | 畑中 守 (4.1)   |
| 千代田  | 山岸幸雄 (4.1)   |
| 藤沢   | 加藤正美 (4.1)   |
| 大和   | 織川泰夫 (4.1)   |
| 伊西   | 橋詰 昌 (4.1)   |
| 三次   | 反田博美 (4.1)   |
| 出雲   | 青木 博 (4.1)   |
| 前原   | 津田信作 (4.1)   |
| 長崎   | 山口光明 (4.1)   |
| 笠岡   | 鈴木健二 (4.4)   |
| 香取   | 篠塚貞夫 (4.5)   |
| 嘉麻   | 大野美知人 (4.5)  |

## 時の話題

# 農業法人 進む農業経営の近代化

従来型農家をめぐる環境はますます厳しくなっている。しかし一方で、新しい形態で農業経営にチャレンジする人が増えてきた。

1999年の法改正で認められるようになった農業法人

は、着実に数が増えており、食品メーカーや外食産業、スーパーマーケットチェーン等との専属契約、共同事業で存在感を増している。

現在その数はすでに1万弱にのぼるといふ。うち約半数は自営農業を法人化した家族経営法人だが、残る半数は仲間同士の共同や、いわゆる「会社」イメージに近い法人

である。

農業法人のメリットとしては、まず経営の近代化、大規模化、多角化への対応がしやすいことがある。農産加工を組み合わせ付加価値の高い商品をつくったり、独自の販売ルートを開拓したりと、従来規制の多かった活動が行いやすくなる。また、財務を透明にすることにより、一般金融

機関からの資金調達も容易になる。

農業法人は毎月決まった給料、ボーナスを支払い、各種社会保険、福利厚生制度を整備することができるため、若い就農者を集めやすい。

経済的に自立したまちづくり計画に、農業法人設立援助を組み込んで支援する自治体も増えている。

高橋勝夫氏(夕張市議会議長、全国市議会議長会理事)は5月1日逝去、67歳。葬儀は5日、夕張市内で執り行われた。喪主は妻、ハルエさん。

# 議会

## トピックス

### 「米牛肉の拙速な輸入再開反対」が最多

#### 3月定例会の意見書・決議の状況 (上)

全国市議会議長会は、このほど、各市議会から任意に送られた意見書・決議の写しをもとに、3月定例会を中心に決議した意見書・決議の状況をまとめた。それによると、(上)では、輸入再開後の米産牛肉に特定危険部位である脊柱が混入していたことを受け、「米産牛肉の拙速な輸入再開反対と万全なBSE対策の実施」が最多となっている。

政府は、米産牛肉について、15年12月にBSE感染牛が確認されたため輸入禁止としていたが、「全月齢からの脳、脊髄等の特定危険部位の除去」・20ヶ月齢以下と証明される牛からの肉」等の条件遵守を前提に、17年12月から輸入再開に踏み切った。

しかし、本年1月、輸入牛肉に特定危険部位の脊柱が混入していたため、再度、輸入を禁止した。

米産牛肉は焼却処分されず、肉骨粉の原料として流通しているため、牛の飼料の製造段階で肉骨粉の混入、交差汚染などの危険性が高くなっている。

また、生産・流通をたどるトレーサビリティの制度が整っていないなど、BSE対策は極めて不十分な状態にある。そのため意見書では、わが国が実施している各種対策、全頭検査の実施、トレーサビリティ・システムの制度化、全頭からの特定危険部位の除去、肉骨粉の製造禁止と同程度の安全基準が確保されるまで、拙速な輸入の再開をしないよう求めている。

#### 意見書・決議の議決状況 (上) (18.2.1~18.4.30)

| 件名                            | 意見書    | 決議    |
|-------------------------------|--------|-------|
| 【税・財政】                        | 【 42】  | 【 2】  |
| 「事業仕分け」による行財政の効率化             | 18     |       |
| 個人所得課税の各種控除縮小の反対              | 17     |       |
| 真の地方分権改革の確実な実現                | 6      |       |
| その他                           | 1      | 2     |
| 【地方行政・議会・選挙】                  | 【 34】  | 【 13】 |
| 公的機関の役割重視と住民サービスの向上           | 8      |       |
| 議会制度改革の早期実現                   | 6      |       |
| 公共サービスの安易な民間開放の反対             | 5      |       |
| 国勢調査制度の改善                     | 4      |       |
| 北海道道州制特区推進法案の慎重審議             | 3      |       |
| 在外選挙権の制限撤廃に向けた公職選挙法の早期改正      | 2      |       |
| その他                           | 6      | 13    |
| 【医療・保健衛生】                     | 【 105】 | 【 5】  |
| 医療制度改革での国民負担増の反対              | 42     |       |
| 医師・看護職員確保対策の充実                | 10     | 5     |
| 医療提供体制の充実                     | 9      |       |
| 「進行性化骨筋炎」の難病指定                | 9      |       |
| 乳幼児医療費無料制度の創設など               | 8      |       |
| 小児慢性特定疾患治療研究事業の対象疾患の基準の緩和     | 5      |       |
| 病院の存続と機能の充実                   | 4      |       |
| その他                           | 18     |       |
| 【教育・文化】                       | 【 43】  | 【 9】  |
| 義務教育費国庫負担制度の堅持と次期教職員定数改善計画の実施 | 24     |       |
| 教育基本法の理念を生かした教育改革             | 2      |       |
| 第31回オリンピック競技大会の招致             | 1      | 9     |
| その他                           | 16     |       |
| 【農林・水産】                       | 【 162】 | 【 0】  |
| 米産牛肉の拙速な輸入再開反対と万全なBSE対策の実施    | 72     |       |
| 抜本的な都市農業振興策の確立                | 42     |       |
| WTO農業交渉での上限関税の反対など            | 18     |       |
| 日本の提案の実現                      |        |       |
| 畜産業の経営安定対策                    | 8      |       |
| 食料・農業・農村基本計画の推進               | 6      |       |
| 遺伝子組み換え作物の栽培規制                | 4      |       |
| 食の安全確保対策の推進                   | 4      |       |
| 「品目横断的経営安定対策」の対象要件の拡大         | 4      |       |
| その他                           | 4      |       |
| 【公害・環境保全】                     | 【 23】  | 【 5】  |
| 森林の違法伐採問題への取り組み強化             | 11     |       |
| 六ヶ所村核燃料再処理工場の慎重な試験操業          | 3      |       |
| アスベスト対策の推進                    | 2      |       |
| その他                           | 7      | 5     |
| 【合計】                          | 【 409】 | 【 34】 |
| 【総合計】                         | 【 997】 | 【 73】 |

### 行事予定

- 5月24日 全国市議会議長会 総会(午前10時半、日比谷公会堂)・正副会長会議(午後4時、同)
- 5月24日 産炭地域振興協議会 会計監査(午後4時15分、全国都市会館)・実行委員会(午後4時半、同)
- 5月25日 全国市議会議長会 天皇陛下拝謁(午前10時、皇居豊明殿)・分権改革推進会議(午後12時半、全国都市会館)
- 5月25日 市議会議員共済会 理事会(午後1時半、全国都市会館)・代議員会議(午後3時、同)
- 5月25日 全国高速自動車道市議会協議会 監事会議(午後4時、全国都市会館)
- 5月31日 地方自治危機突破総決起大会(正午、九段会館)

### 電話番号等変更

旭川市(北海道)  
TEL 0166(25)6380  
(議会事務局直通)